

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

甲府病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 大腿骨近位部骨折患者の受傷前の歩行自立度と受傷側の関係性についての検討

[研究責任者] 独立行政法人国立病院機構甲府病院 リハビリテーション科 理学療法士長 立石貴之

[研究の背景] 日本整形外科学会の調査（2009～2014）では、大腿骨近位部骨折の79.5%の受傷機転は転倒であると報告されています。Haginoらは大腿骨近位部骨折の全国調査を実施し、受傷側は右側より左側が多かったことを報告しています。受傷前の歩行自立度が異なる場合、転倒のリスクも異なる可能性があるため、転びやすい方向つまり受傷側に影響を及ぼす可能性が考えられますが検証されていません。本研究により転びやすい方向に影響を与える要因を抽出することができれば、大腿骨近位部骨折の発生を予防するための運動療法プログラム立案、手すりの位置やベッドの配置などの家屋環境調整の根拠となる可能性があります。

[研究の目的] 本研究の目的は、大腿骨近位部骨折患者において、受傷前の歩行自立度は受傷側に影響を及ぼすのかを検証することです。

[研究の方法]

●対象となる患者様：1997年1月～2022年12月の間に独立行政法人国立病院機構甲府病院に入院した60歳以上の大腿骨近位部骨折患者様

●研究期間：院長承認後から2025年3月31日

●利用するカルテ情報：年齢，性別，受傷機転，受傷側，受傷前の歩行自立度，基礎疾患

●情報の管理：あなたから提供されたデータから住所、名前等が削られ、代わりに新しい符号をつける匿名化を行います。あなたとこの符号とを結びつける対応表は、研究責任者が施錠できる保管庫に厳重に管理します。

[研究者の所属、職名及び氏名]

立石貴之	独立行政法人国立病院機構甲府病院	リハビリテーション科	理学療法士長
吉井 諒	独立行政法人国立病院機構甲府病院	リハビリテーション科	理学療法士
山下 隆	独立行政法人国立病院機構甲府病院	整形外科	医師
萩野哲男	独立行政法人国立病院機構甲府病院	整形外科	医師

[個人情報の取扱い] この研究の結果はこの研究に関連する学会で報告し、関連する分野の学術雑誌に論文として公表する予定です。また、データベース上で公表することもあります。いずれの場合も公表する結果は統計的な処理を行ったものだけとし、あなたの個人の情報は一切公表しません。

[研究の参加について] この研究への参加(カルテ等の情報を利用すること)にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によってはこの研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構甲府病院

リハビリテーション科 理学療法士長 立石貴之

電話 055-253-6131(代表) FAX 055-251-5597